

序

東京女子医科大学腎臓病総合医療センター 太田和夫

第2回腎不全外科研究会は平成5年6月19日に山川 眞白鷺病院院長を会長として、大阪千里ライフサイエンスセンターにて開催された。会長が膵臓癌になり、加療中ということではあったが、会長のご挨拶をいただき、金昌雄事務局長の指揮のもとに62題の発表を終え、有意義な会となった。

山川会長はこの会を終えられて半年後に、大和武尊のように白鷺となってあの世に旅立たれた。慎んでこのプロシーディングスをご霊前に捧げ、ご参加いただいた諸氏とともにご冥福をお祈りしたい。

今回のプロシーディングスには「腎不全患者の麻酔」、「腹膜アクセスの作り方とその管理」、「糖尿病性腎症透析患者の下肢切断」、「透析患者の肝臓治療」、「透析患者の骨病変に対する治療」など5編の総説をいただいた。いずれも透析患者およびその外科的合併症における重要なテーマであり、いろいろと参考になることが多い。

なお、座談会については「腎不全患者のスクリーニング検査」ということで、最近ますます重要になってきた透析患者の成人病検診的な面でのアプローチについていろいろお話をいただいた。なかでも悪性腫瘍については一般人口に比較し、透析患者では発生しやすいとされ、特に頻回の輸血に由来する肝炎に引き続く肝硬変、肝臓についてはいっそう注意を払わなければならない。また大腸癌も尿毒症の毒素による免疫能の抑制をはじめ、自律神経障害、線維素不足、水分制限などによる便秘や高脂肪食などの影響を受けて、発生頻度が高くなっている。そのほか、後天性嚢胞腎由来の腎臓の発生も厳重な監視が必要である、など多くの示唆に富む話がいただけたと思う。また眼科側より、透析患者の眼の管理について提言が得られたことも有意義であった。

なお、一般演題は臨床経験13題、症例報告5題、看護2題が収録された。これは発表された全演題の33.5%であり、提出されなかった演題のなかにも貴重な報告はあったが、発行期日を遅らせるわけにいかないので割愛することにした。

ここ数十年、透析開始時の白血球減少の発見に端を発した hypersensitivity の研究も、各種の透析膜が登場するようになって、かなり実態が明らかになり、各種のサイトカインのかかわりが示されるようになってきた。

透析患者の手術侵襲や創傷の治療過程が正常成人と違う点について、尿毒素の毒素そのものと反復されるこれらの刺激が関与していることは疑いもない事実であろう。したがって、これを解明するのが腎不全外科の基礎としてきわめて重要であると考えている。今後は、臨床経験を一歩進めた研究的な論文の登場も大いに期待したい。

目次

序	太田和夫	4
総説		
腎不全の麻酔	中村雅人、他	8
腹膜アクセスの作り方とその管理	石崎 允	13
糖尿病性腎症透析患者の下肢切断	金 昌雄	19
透析患者の肝臓治療	新開真人	24
透析患者の骨病変に対する治療	玉田義雄	30
座談会		
腎不全患者のスクリーニング検査	司会 金 昌雄 出席者 寺岡 慧 小野利彦 田畑 勉 福田全克	37
臨床経験		
慢性腎不全患者の術前管理	宮崎哲夫・他	52

開頭術と CAPD: 血液透析例の脳腫瘍摘除について	西銘圭蔵・他	55
上皮小体全摘一部自家移植後の遠隔期における 全身骨X線検査と骨代謝マーカーの検討	高須伸治・他	57
北海道における透析患者の手術例	大平整爾・他	59
慢性透析患者の胃切除症例の検討	中村清昭・他	62
透析患者におけるイレウス手術例の検討	大平整爾・他	64
腎不全患者に対する腹腔鏡下外科手術	中島一朗・他	66
慢性血液透析患者に対する腎摘出術の臨床的検討	竹内宣久・他	68
下肢切断術を施行した糖尿病性腎不全症例に対する 生存例と死亡例の比較	藤森 明・他	72
血液透析患者の超音波血流計による下肢血流状態の判定	池田哲夫・他	74
長期透析患者の膝関節障害に対する手術的治療について	竹中良也・他	76
大腿骨頸部骨嚢腫様病変部への骨移植術	内藤正俊・他	78
Shuntless HD 患者における、主として長期 UK カテーテル使用の問題点について	木藤知佳志・他	80
症例報告		
自然破裂をきたした透析患者の肝癌の 1 例	小林裕之・他	84
透析導入時に発見された原発性肝癌の切除例	久木田和丘・他	85
肝硬変による脾機能亢進症に対し摘脾術を施行した血液透析患者の 1 例	伊藤英晃・他	86
免疫学的便ヒトヘモグロビン検出法(ラテックス凝集法)が診断の契機となった 透析患者大腸早期癌の 2 例	湖山信篤・他	88
AIDS 患者の CAPD カテーテル留置術時の感染予防について	朴 勺・他	90
看護		
カテーテル出口部ケアの検討	野村いち江・他	91
CAPD 療法中の直腸癌患者の看護	朝山春姫・他	94